

2026年度 開催概要

※諸般の事情により変更になる場合があります。

◆基本コース

「情報システム部門人材としての考え方と基礎知識&スキル研修+フォローアップ研修」

【主な内容】

情報システム部門の業務・役割・可能性を正しく理解し、高い意識で業務に取り組める人材を育成する研修です。「ビジネスルール(作法)」「業務知識」を基礎から徹底的に学び、基本的スキル・知識の底上げを行います。

日程 : 2026年6月15日(月)~7月10日(金)および 2027年2月19日(金)

参加費 : 会員 660,000円(税込) / 一般 770,000円(税込)

※テキスト代含む ※PCレンタルは希望者のみ別途有償でのご案内

開催形式: 現地集合(一部講義は JUAS 近隣のレンタル会議室にて実施いたします)

【JUAS 会議室開催の場合】

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 2階会議室

東京都中央区築地一丁目13番14号 NBF 東銀座スクエア

(アクセス: 東銀座駅徒歩3分、築地駅徒歩4分、新富町駅徒歩6分)

【レンタル会議室の場合】

TIME SHARING 銀座三丁目ビルディング

東京都中央区銀座3丁目8-13 銀座三丁目ビルディング5階

(アクセス: 東銀座駅より徒歩2分、JUASより徒歩10分)

◆実機演習コース

「情報システム導入の実機演習」

【主な内容】

基本コースで学ぶ企画~導入での疑似体験研修の内容を用いて、実践的なプログラミングを行い、体系的な理解を深めるアドバンスコースです。

日程 : 2026年7月13日(月)~8月7日(金) 計19日間

参加費 : 会員 462,000円(税込) / 一般 528,000円(税込)

※テキスト代、PCレンタル代含む

会場 : 船橋情報ビジネス専門学校 (現地開催のみ)

(アクセス: JR 船橋駅徒歩4分、京成船橋駅徒歩7分)

本プログラムの目的

情報システム部門の業務・役割・可能性を正しく理解し、高い意識で業務に取り組める人材を育成する研修です。「ビジネスルール(作法)」「業務知識」を基礎から徹底的に学び、基本的スキル・知識の底上げを行います。これまでのべ105社550名以上が受講。新入社員必須の研修プログラムです。

本プログラムの特長

- ▶ 「ITの最新動向」「情報システムの体系的な作業プロセス」について、豊富なチーム演習と講義を通して、現場リスクや要点、勘所を支える知識を習得。
- ▶ JUAS セミナー人気講師、現役IT部門長等、JUAS 独自の講師陣で構成。自らのロールモデルやキャリアイメージを描く機会が多数。

■2025年度 ご参加企業 20社50名(新入社員46名、2年目社員・配転者4名)

株式会社IHI・味の素株式会社・伊藤忠サイバー&インテリジェンス株式会社・伊藤忠商事株式会社・伊藤忠食品株式会社・伊藤忠リーテイルリンク株式会社・株式会社荏原製作所・キャンノンマーケティングジャパン株式会社・ジュピターショップチャンネル株式会社・積水化学工業株式会社・株式会社セブン銀行・全国農業協同組合連合会・DIC 株式会社・株式会社富士薬品・日本ハム株式会社・日本コープ共済生活協同組合連合会・ブリヂストン株式会社・株式会社ベルシステム24ホールディングス・ポケットカード株式会社・株式会社ローソン(企業名五十音)順)

情報システム部門のための

新人・配転者向けプログラム

対象

学卒採用および
異動に伴う、情報
システム部門新規
配属の若手社員

基本コース「情報システム部門人材としての考え方と基礎知識」カリキュラム（予定）

| 日数 | 科目名称 | 概要/キーワード |
|----|------------------------------|--|
| 1 | 開講式/オリエンテーション プレゼンテーション基礎 | IT部門人材としての心構え・考え方、本研修プログラムの全体概要と修得知識・スキル プレゼンテーションの基本スキル |
| 2 | IT部門のコミュニケーションスキル | ロジカルなコミュニケーションの基本スキル、プロジェクトファシリテーターの役割と演習、効果的な会議運営ルール |
| 3 | IT基礎 | パソコン分解実習、VBScriptによるプログラミングの体験、ネットワークコマンド、PostgreSQL、SQL体験、コマンドプロンプト・コントロールパネル・タスクマネージャを使ったOS実習、2進数実習 |
| 4 | 設計基礎 | システムの開発工程、アルゴリズム入門、フローチャート、機能設計、CRUD、コード設計、コード仕様書、データ設計、画面遷移図、画面レイアウト |
| 5 | 文章化作法 | 仕様書、提案書を作成するうえでの、相手に伝わる文章を書くための日本語の基礎と考え方の基本 |
| 6 | 情報システム概論 | 情報システムの構成要素、企業における情報システム、情報システムの歴史・現状と将来展望、IT部門に求められるミッション、今後IT部門に求められる資質・取組み |
| 7 | プロジェクトマネジメント① | PMBOK®ガイド概論(5つのプロセス群と10の知識エリア)、プロジェクトを取り巻く環境(ポートフォリオ、PMO)、演習から学ぶプロジェクト憲章、WBS、クリティカルパス、ステークホルダーマネジメント、リスクマネジメント、進捗・変更管理 |
| 8 | プロジェクトマネジメント② | ITシステム企画・開発でのプロジェクトマネジメントの理論と実践、模擬プロジェクト体験、プロジェクトに必要なヒューマンスキル(コミュニケーション、コンフリクトマネジメント、チームビルディング) |
| 9 | アジャイル基礎① | アジャイルとは、ウォーターフォールとアジャイルの違い、Scrumとは、アジャイル立上げプロセス |
| 10 | アジャイル基礎② | インセプションデッキ、業務へのプラクティス導入、ワークショップ、アジャイル変革における成功のポイント |
| 11 | 情報化プロセス体験研修① | ビジネス分析/環境分析/ビジネスの整理/ビジネスプロセスモデル作成 |
| 12 | 情報化プロセス体験研修② | ビジネスアナリシス/新業務フロー作成/DFD作成と要件整理 /トレーサビリティマトリクス作成 |
| 13 | 情報化プロセス体験研修③ | 投資計画書作成/プロジェクト管理/プロジェクト立上げ/プロジェクトマネジメント憲章/ プロジェクト計画作成 |
| 14 | 情報化プロセス体験研修④ | システム要件定義・要件定義書作成（要求リスト/モデリング/求確定機能、非機能要件整理/システム規模見積）プロポーザルと外注選定/RFP作成/プロポーザル評価作成 |
| 15 | 情報化プロセス体験研修⑤ | システム設計/基本設計書作成/システムのテスト検証（システム、ユーザーテスト計画、システム稼働判定と手続き）/プロジェクト完了報告 |
| 16 | 情報システムセキュリティ | 情報セキュリティ原則（機密性、完全性、可用性）、リスクマネジメント、情報ライフサイクル、発注者側責任（C&A）、SLDC/SLC、情報セキュリティマネジメント効果 |
| 17 | テスト・品質の基礎 | テストケースの作成/受入テスト/品質の判定/テスト結果のリスク判断 |
| 18 | システム運用 | ITサービスとしてのシステム運用の価値、システム運用業務・プロセス |
| 19 | 振り返り・プレゼンテーション準備 | 振り返り、プレゼンテーション準備 |
| 20 | プレゼンテーション/閉講式 | アクションプランの個人プレゼンテーション |
| 21 | (6ヶ月後) フォローアップ研修 | アクションプランの進捗報告、キャリアプランの報告、グループディスカッション |

※内容・カリキュラムの順序は変更する場合がございます

実機演習コース「情報システム導入の実機演習」カリキュラム（予定）

| 日数 | 科目名称 | 概要/キーワード |
|----|----------------------------------|--|
| 1 | アルゴリズム入門 | アルゴリズム概要、流れ図の基礎 |
| 2 | プログラミングⅠ ① (Java言語 制御文法編) | Javaの基本構文、変数とデータ型 |
| 3 | プログラミングⅠ ② (Java言語 制御文法編) | 基本構造、メソッド |
| 4 | プログラミングⅡ ① (Java言語 オブジェクト指向編) | オブジェクトとクラス |
| 5 | プログラミングⅡ ② (Java言語 オブジェクト指向編) | 継承、例外 |
| 6 | アプリケーション開発要素① | HTML入門 |
| 7 | アプリケーション開発要素② | SQL入門 |
| 8 | プログラミングⅢ ① (Webアプリケーション入門) | Webアプリケーション、Webサーバ、Javaサーバレット |
| 9 | プログラミングⅢ ② (Webアプリケーション入門) | JSP、セッショントラッキング、データベース連携 |
| 10 | IS導入入門 ① (システム開発技術) | プロジェクト計画、システム要件定義、システム方式設計、ユーザー受け入れテスト計画 |
| 11 | IS導入入門 ② (システム開発技術) | ソフトウェア要件定義、ソフトウェア方式設計 |
| 12 | IS導入入門 ③ (システム開発技術) | ソフトウェア詳細設計 |
| 13 | IS導入入門 ④ (システム開発技術) | コーディング |
| 14 | IS導入入門 ⑤ (システム開発技術) | コーディング |
| 15 | IS導入入門 ⑥ (システム開発技術) | コーディング |
| 16 | IS導入入門 ⑦ (システム開発技術) | コーディング |
| 17 | IS導入入門 ⑧ (システム開発技術) | コーディング、ユーザー受け入れテスト |
| 18 | IS導入入門 ⑨ (システム開発技術) | コーディング、ユーザー受け入れテスト |
| 19 | IS導入入門 ⑩ (システム開発技術) | 製作システムの最終チームプレゼンテーション |

※内容は変更する場合がございます

参加者の声

- ◆ 知らないことに対して前向きに取り組む姿勢が成長できたと感じています。特に、ITの知識に関しては、詳しい人から教えてもらう中で理解を深めることができ、新たな知見を得られました。
- ◆ 苦手な役割も行い、自分では想定していなかった強みだったり、弱みをFBからも得ることができた。
- ◆ 直接業務に関わらなさそうな内容の講義あっても意欲を持って取り組んだことで、開発者側ではどのようなことが行われているのかなど、普段の業務では見えてこない範囲まで把握することができ視座を高めることができた。
- ◆ グループワークを積極的に取り組めたことで、発言することの大切さを知り、恐れず発言することができるようになった。
- ◆ <実機演習参加者>自分たちが行いたい画面を作り上げることができとても達成感を味わうことができました
- ◆ <実機演習参加者>お互い分担して作ってきた、アプリの裏面と表面を連携することが多く、形になる感動を感じました。
- ◆ <実機演習参加者>システム要件定義からユーザ受け入れテストまでの流れを体験し、初期の定義が曖昧だと後工程に大きな影響を及ぼすことを学んだ。



◆お問合せ◆ shinjin@juas.or.jp

(担当:橋本・菊地・酒井・岩田)

お気軽にお問合せください。

<https://juasseminar.jp/pages/shinjin>